

私は様々な理由からメール・システムのホルダーを整理していて、次々と削除していったわけだが、ふと一年前の娘からのメールを見つけ、そこで手が止まった。私が娘からもらった初めてのメールだった。当時娘はイギリスに留学中で余程悩み考えたのであろうと推測される。そうでなければ変わり者のわが娘がこの私にまでメールをすることなどあるはずがなかったからである。

「久しぶり、つてほどでもないよね。一か月ぐらいいかな。でもわたしには凄く長い時間だったような気がする。いろいろ考えさせられたからさー。で、思っの。」

総ては事実にして捉えなくっちゃいけないわ。そうでなくちゃ過ちが起る。悪い民族とか、悪い宗教とか、言っちゃいけない。それは事実にしていないからよ。民族が丸ごと悪である民族なんて有り得るはずがない。そんなことを想う人が悪だと思っ。

事実にして考えようとすると、必然の結果として科学的に、個別に、事案別に、複雑系的に考えることになるわ。つまり事実をまとめたり、くくったり、丸めたりしないで、事実を事実のままに捉えなくっちゃなんない。たとえばある宗教には良いところもあるが、悪いところもあるし、その信者には悪いことをした人もいるが、善い人もいる、という風に。民族も同じだよ。古今東西を通じて。そうしないと正しくなんない。それで不幸なことが起る。

留学してすぐのとき、クラスに行ったら韓国人の女の子がいて、わたしを指さしながらイギリス人の女の子に「こう言ったのよ」

「ねえ、彼女は日本人なの、悪い民族なのよ、あんな子は相手にしないで、私たちは仲良くしましょうね」

愕然とした。何を言っているのかわからなかった。実はその前にもわたしと同じようなことを留学生で韓国の子に言われてショックを受けたっていう書き込みを見たことがあったけど、現実には目の前にすると、有り得ないショックだった。わたしのどこが悪いの？　つて言うか、民族丸ごと悪い民族なんて、漫画じゃあるまいし、有り得るわけない。ましてや日本は世界に認められ、世界に貢献し、優しくて親切で礼儀正しくて世界の人たちからの好感度も高いのに。

韓国と日本との間で起った歴史は知っている。古い世代の人には後ろめたい気持ち蔓延しているのも何となく知っている。侵略戦争だったと世界で言われているのも知っている。でも、きつとわたしが彼女の立場だったら、言わないだろう。それはわたしが倫理的、人間的に優れているからじゃない。言っちゃって恨まれるのも嫌だし、たとえ自分の言い分が正しかったとしても、あんな強かなこと言ったら、明らかに性格悪いと思われるから、それが厭で絶対言わないと思っ。日本人でも気の強い人や弱い人がいるけど、たぶん、あんな風なことを言えちゃう人はまずいないと思っ。

民族や文化で丸めちゃいけないって言いながら矛盾するけど、やっぱり傾向っていうのはあると思っ。

想い出すのは、高校のとき、フランスから留学生が来て、クジラのこととクラス全体とその子とが口論になったことがあったことだ。その子が捕鯨は残酷と言った。クラスの子が「平は食べていいのに、クジラを食べるのを非難するのはおか

しい。差別じゃない？」わたしには物凄く当然で。あたりまえ過ぎるくらいあたりまえな論理に思えた。これに対する反論なんて絶対に有り得ない。単純で強く明確で明解で睿らかだった。しかし彼女の態度は予想にまったく反した。

「何言ってるの？ 全殊違っわ」

すると教室の誰もが私と同じ感覚だったのだろう。突然大きな声を上げた。「そんな真逆なっ、おまえこそ何言ってるの？ 意味わかんない」「クジラがダメで、牛がいいっておかしいだろ？ 絶対おかしいだろ？ 同じ動物じゃん、絶対絶対おかしい」「何で、こんな分かん切った理窟が通しないの？ 信じらんない、有り得ない、狂ってる！」その子は首を振り、もう口を閉ざしてしまった。「議論をしても無駄。もう話さない」

納得のいかないクラスメートたちの怒号はさらに高まった。何か自分たちがあたりまえなことがわからない奴らと決定され、シャットアウトされてしまったのだ。怒りが収まらなかった……

あとでいろいろ調べて少しわかった。欧米の人たち（特に捕鯨の習慣の少ない人たち）はクジラを知性のある生き物として捉えているという事だ。そう言うと、東洋人は『頭が良ければ殺しちゃいけなくて頭が悪けりゃ殺していいのか』という議論を吹っかけるらしいけど、そう言うことではないみたい。西洋には流出（ヌース）という思想があつて、知性は神から流出して人間にあるという考えがあるらしい。つまり平たく言えば、知性があるということとは人間と同じということだ。つまりわたしたちが「牛を食べてもいいならクジラを食べてもいいはず」という自明の論理はあの子にとっては「牛を食べてもいいなら人間を食べてもいいはずだ」という風に聞えていたわけだ。なるほど、同じ動物だから確かに良いはずだが、そういう風に納得する人はさすがに少数派だと思う。あたりまえの論理を言っているように思ってたわたしたちも実は先入観で決めつけた前提から出発していた。人間が動物なのはあたりまえなのに、勝手に人間を除外して理窟を進めていたんだと気が附いた。

文化とかつて侮れない。いつの間にか込み附いてわたしたちを洗脳している。よくよく考えてから言わないと独りよがりになる。

話逸れたけど、個別に、事案別で複雑系的に、という考えは原則正しいと思う。

無差別テロや無差別殺戮兵器をそれを証明する。何もしてないのに家族が殺されればそれは凄惨な恨みになり、次の復讐を生む。その復讐が無差別な攻撃だったら、次の物凄く復讐心を生でさせる。復讐の連鎖だ。これでは永劫に已まない。何もしないのも罪、何も反対しなかったから協力者という理屈を言うかもしれないけど、現代の啓もうされた世界ではそれは罪ではない。それを罪とするのは古代の暴虐だ。暴虐をもつてすれば被害者の憤りや憎悪怨憎恨み怨嗟は半端じゃないはずよ。さらに矯激な復讐が起り、もつと狂烈な報復がある。不幸が凄絶な勢いで永劫に拡大する。イスラエルとパレスチナ、本当に不幸の連鎖で心が痛む。ニューヨークの9・11だって、無差別だわ。アル・カーイダ (al-Qa'idah, al-Qa'idah) の人たちは自分たちの方が遙かに苦しめられたと言っけど、もしそうであるならば、つまりその人本人を不当に苦しめて死にあたうほどの罪を犯した罪人がいるならば、復讐の刃はその罪人だけに向けられるべきよ。飽くまで暴力は肯定しないというのが前提だけれど。もしも、もしも、もしもそうしなければならぬなら、ならないほど状況が酷く、他に術がなく

相手の罪が深いならばね。罪のない者を傷付けられたならば、そこから熾る復讐は凄ましい。アメリカの軍事行動だって、ウィキリークスのせいで（それとも「お陰で」と言っべきかしら？）余り信用できなくなったわ。実際、一部のイスラム原理主義とイスラエル及びアメリカを中心とする西欧諸国や日本との関係は絶望的にさせられる。無辜の家族や友人を、愛する者たちを殺された人たちに復讐をやめろと言う権利が誰にあるのかしら。とても口出できないわ。どうにもできない怖ろしい悲劇。

そしてアフリカの諸国で欧州の植民地以来延々と続き已む事のない混乱と破壊と残虐と殺戮と暴力、特に女性や子どもたちに与えられる凄惨な運命、その悲劇の凄まじさは言葉にもできない。誘拐され略取され、最前線に立たされる少年兵、性的搾取をされる幼い少女たち。銃を持たされ人殺しを強要され、生命を奪う行為を拒否すれば耳を削がれる。そんなことが何万も何十万も起こっている。絶望、凄過ぎて魂まで裂けてしまいそうな気分だわ。あゝ、わたしがこんな言葉を使う日が来るなんてね！世界の不幸は凄まじい、不幸の歴史は言葉に尽くせない。すべてを知らなくてはいけない。すべてを知る義務がある。全世界は反省すべきだ。罪を犯していない国なんてあるのかしら？かつては南米でだって。

『インディアスの破壊についての簡潔な報告』（ハルトロメ・デ・ラス・カサス著）を読むと身の毛がよだつわ。500年前にドミニコ会の修道士が書いたスペイン国王への報告書よ、知ってる？哀しみと怒りが滾ってくる。ナチスよりも酷い。

「彼ら（スペイン人）は村々へ押し入り、老いも若きも、身重の女も産後間もない女もことごとく捕え、腹を引き裂き、ずたずたにした」、「13人ずつその絞首台に吊し、その下に薪をおいて火をつけた。こうして、彼らはインディオたちを生きたまま火あぶりにした。また、インディオの体中に乾いた藁を縛り、それに火をつけて彼らを焼き殺したキリスト教徒たち（スペイン人）もいた」、「キリスト教徒たちは彼ら（インディオ）を狩り出すために猟犬を獐猛な犬に仕込んだ。犬はインディオをひとりでも見つけると、瞬間に彼を八つ裂きにした」、「島には300人のインディオを分配されて所有した官吏がいたが、わずか3カ月のうちに、そのうちの270人が鉱山労働で死んでしまい、生き残ったのは全体の10分の1に当る30人にすぎなかった」、「天きな重い荷物をかつがされたため、疲れてへとへとになったり、空腹とその苛酷な労働そのために病気になったりするインディオが数人いた。その時、スペイン人たちはいちいち鎖を外すのが面倒なので、インディオたちの首枷の辺りを剣で斬りつけた」、「彼（スペイン人）は夫婦を無理矢理引き離し、夫から妻や娘を奪い、水夫や兵士たちにあてがった」、「どれほど多くの強姦、凌辱、暴行が犯される破目になったことか」、「平和に暮していた大勢のインディオを絞首刑にしたり、火あぶりにしたり、獐猛な犬をけしかけたり、手足、首、舌を斬り落したりして殺害した」、「スペイン人たちが手当り次第にたた気紛れからインディオたちの男や女の手と鼻と耳を削ぎ落しているのを目の前で見た」、「国王を捉え、金庫と自由を交換すると約束したが、王が約束どおりの金を積むと『もつとあるはずだ、隠しているに違いない』と勝手に疑い、説明も聴かず、熱く焼けた鉄の上に縛り附けた。その絶叫は一晩中に遠くまでも届いた」

あるのはただただ非道、卑劣の極み。不実で、欺瞞、暴虐、虐殺、殺戮の限りよ！信じられない。人間がこんな残虐なことを人間にできるなんて。本当に信じられない。もう人が、世界が信じられない。でもいまさらスペインの人にこれを訴

えても困らせるか、肩を竦められるだけでしょね。500年も前で、彼らには関係ないから……そうよね。

最近あった事件で、韓国の〇×市の市庁前の石碑と市議会、高句麗鼓閣に書かれた猥褻なラクガキによる事件もショックだったわ。或る市民団体が『駐韓日本大使館前少女像への杭テロで全国民を怒らせた日本極右、落書きテロなど、常識を超越した無礼な外交的破廉恥行為』と決めつけて猛非難。「日本人は地球に果食う邪悪生物」だから「仁川（インチョン）国際空港で離着陸待機中のJAL航空機内に『地球村悪鬼日本！』のビラを否襲的に大量散布することにした」と発表した件よ。あゝ、わたしたち悪鬼なんだ、って思った。邪悪生物なんだ、って。結局犯人は韓国の人で、日本人は関係ないことがわかった。取り敢えず安心したけど、『常識を超越した無礼な外交的破廉恥行為』って。怖い。

凄じ言葉だと思うけど、日本のネット上も凄じ。「ば韓国」とか「姦国」とか、韓国のメディアがその様子を汚水に喩えて「相手にすまい。汚濁に塗れた人間には勝手に汚水を泳いでいてもらおう」的なことを書いていたけど、まあ、一般人のネットのひびきはどの国も同じ、韓国だって汚水だらけだ。メディアなのに知らないのだろうか。一般人が無責任な汚物を書き込むのは眼をつぶったとしても、大手メディアがそれじゃ余りにもいい加減……なんて思っていると、いままで意識していなかったせいか気が附かなかった、日本の大手新聞もたまに呆れるような記事を書く。自分の国のメディアって公平公正で、客観的、冷静かつ理性的、国民は標準的で悪い人もいるけど基本的にはいい人で、悪い企みもなく底意もなく、優しくて温情的だ、って思いがちだけど、見る角度を変えてみるとそうでもない。どこにも正義の国なんかないんだ。自分にとって都合の悪いことを否定し、自分に有利なものを肯定しているだけではない。歴史なんかまさにそうだ。歴史問題、歴史教科書の選定、歴史の歪曲とか言うのも、どれが真実かなんて言えない。どこの国も同じくらい馬鹿だ。だからどこの国も「我が国の主張は正しく、あたりまえで、分かり切ったことなのに、他の国は途方もない歪曲をする、とんでもない、断じて赦すことはできない」と悔しがつて地団駄し、歯噛みする。どこの国も要するに自分の国にとって良い歴史を採用し、悪い歴史を否定してるだけじゃん。結局は自己を肯定しているだけ。人のすべての営みはそれでしかない。他に何があるって言うの？ むろん、ないわ。

もし自分の国と国民を誹謗し、蔑むような歴史観を採用する国があるならば、わたしはその国をこそ信じよう。それが潔さだ。清廉潔白だ。世界には学問も科学もない。ただ政治と欲得の駆け引き、煽られた民族主義、利用された愛国主義があるだけだ。ただ溜飲を下げていただけのガキの喧嘩がある。綺麗に言えば、自己の尊厳を廻る闘いだが、何と器の小さな尊厳だろうか。

結局ビラ配りはなかったのか、あったのか知らない。ニュースにならない。この件に限定して言えば日本は冤罪だったけど、市民団体からは犯人呼ばわりしたことへの謝罪はない。向こうにしてみれば、戦犯国家日本への当然の仕打ちで、ラクガキ事件に限らず、慰安婦問題で駐韓日本大使館の前の日本軍慰安婦平和碑（少女像）に杭テロ事件なんかがあったりした（ちなみにわたしは強制だろうが、強制じゃなくろが、売春への関与は犯罪だと思う。強制じゃなくても実質的に強制だった）、人権蹂躪だったりするから、本人の意思があっても売春は犯罪とされるんじゃないの？ つまり悪人たちがバカ儲けできて、なおかつ腐敗と悪の温床になりやすいから。韓国だってライタイハンの問題がある。韓国だって謝罪しない。同

じじゃん。ベトナムとは和解しようとしているみたいだけど、ライタイハンのラ字もない。たごホー・チ・シン Hô Chi Minh 胡志明の靈廟に花を捧けても、『フ』って言わなかつちゃ、謝罪じゃないよ(笑)。類破りって言うのよ。ベトナム戦争に参戦した軍人たちがどが憤激的に狂気反対するらしい、ライタイハンを言つと。「民主主義のために命を賭けて戦った戦士の名誉を汚すか!」って。韓国の人がそれを言っただと思つと爆笑。それは別問題だと思う。韓国では一部のメディア等を除けば余りこの問題への批判がない。日本の方が言論の自由があると思う。日本は親韓的のことを言えるけど、韓国で親日的なことは言えない。日本は慰安婦の議論があるけど、韓国はライタイハンって禁句、憚られている。立場という状況が違つて言うかもしれないけど、違わないよ。韓国って90年代ぐらいまで政治犯を拷問してたし。顔にアイロンでも当てられたみたいな火傷の人の写真が忘れられない。見たリアル・タイムじゃなかったけど。どうでもいいけど、論に困ると日本は戦犯国家のくせについて言うけど、いつまで言う気なのかしら。じゃ、ほかの国にも言つたら? 言う勇気があるならね。あゝ、ごめんね、厭な言い方しちゃったわ。ごめんなさい。でもね、もう何でもかんでも戦争に絡めたら議論はそれで終わりになっちゃうよ。何を言つても「でも、おまえらは戦犯だろ?」Q. E. D」じゃ議論にならないわ。問題は個別に議論しないと解決しないよ。解決する気があるなら事案別にじゃなくちゃいけないのよ。と思うんだけどな。違うかなあ。違つかもしないけど。わたしたちはもう這い蹲つてるのが厭になったのよ。いつもいつも惨めな思いで何も言えない。政治家ばかり見てるから、本当の日本が見えてないのね。極端な行動の人は一人に一人以下よ。右傾化じゃないわ。それこそ妄言だし、妄想よ。国が煽つて賠償を横領した事実を見せないから、それを反目で誤魔化してるから、何気が附かないの? わたしたちは良心的だし、正常よ。じゃなきゃ東アジア諸国から受け入れるわけない。ねえ、評価つて第 3 者がするものなのよ。あゝ、「竹島に竹はない」もひどかったなあ。全然わかつてないし、一方的で「脳がない」「脳がないから人ではない」「領土をよこせとキャンキャン吼える」とか、大学教授にあるまじき品性のない、差別的な発言。韓国では未だに非近代的な差別的表現がまかり通つていて、日本人を身障者に喩える歌がカラオケで流行っているらしいけど、それって身障者への蔑視・差別じゃない? 有り得ないけど、彼の国では普通なのかしら? あゝ、そういう土壤だからあんなコラムを教授が書くのね。一般人ならともかく高名な大学の教授だよ、信じらんない。李承晩が竹島を韓国の支配下と宣言した李承晩ラインの一方的通告は後の日韓基本条約で廃止が合意されたのに約束を守らず韓国は占領を続けている。車がなくても赤信号では涉らない。善悪に関係なく、決め事は守らなくてはならない。それにも一つ、サンフランシスコ講和条約で日本が放棄する地域に竹島は入っていない。韓国は入れるように要求したらしいけど、かつて朝鮮の一部として取り扱われたことも領有権の主張がなされたこともないと言われて、連合国側に拒否された。国民がまず責めるべきは国だ。政府は失策を反目で誤魔化してる。それに気が附かないなら愚かだ。多様化の欠如は自由が不足しているからだ。鬱陵島、竹島、松島、独島、石島、于山島、竹嶼、觀音島…島は時代によつて名称が錯綜し、昔はいまのように科学的じゃないから、かなりいい加減だ。韓国の文献では、島の位置も時代で変わつて独島、竹島だと韓国が主張する文献上のかつての「于山島」は時代によつて島、場所が変わり、特定できない。そういう状況なのに、自国のことを棚に上げて教授は「日本の主張はこんがらがっている」って言う。けど、そうじゃないよ、あなたの理解が足りないのにわかつてない、学者

のくせに。韓国の人は韓国の主張が当然と思ってるけど、外から見たら科学性に乏しいって事実を知らないのね。そう言えば日本のお笑いタレントが竹島は日本領ってツイートしたら韓国から物凄い批判があって「教科書をちゃんと勉強してないのか」ってあつたらしいけど、そりゃーねえ、韓国の教科書は勉強しないわよ。あゝ……って感じ。その程度だから悪いけど、向こうの人の言うことはあんまり真に受けられないのよ、個人的な意見だけど。ねえ、国境は契約に過ぎない。固有の領土は人間の狭い幻想だ。妄想だ。存在しない。ただ国と国の信義によって契約され、決まるものよ。友愛がなくては解決なんかないわ。つーか、さあ、そもそも竹があるから竹島じゃない、猛々しいから「たけしま」なのよ。それ言っなら二つなのに独島じゃん。独が石を意味してるって言うんでしょ？ わかってるわ。こっちはそっちと違つて解ってるのよ！ って感じよね？ まじで教授なの？ 権威ある大学の？ 少しは立場を考えてよ。あ、話逸れちゃったね。ともかく世界の軍は性と必ず関与している。それらはすべて悪だと思うわ。フランスに『引き出しの中に死体を持っている』って格言があるのよ。歴史問題はあるけど、それを取り出して話したくないという意味らしい。フランスも過去に強大国だった時代に植民地を持ってるって、それが誤りだったことがわかってるからあまり言及したくないっていう意味もある。確かに欧州は謝罪しない。ドイツがフランスに謝罪するくらいだ。だからって「じゃあ、日本も」とは思わないわ。日本は日本よ。わたしたちの考えで正しいことをする。そうよ！ ロンドン・オリンピックでの竹島セレモの一件も衝撃的だった。あの件によって、それまでは韓国に好感を持っていた多くの日本人の見方が変わってしまった。わたしも最初に思ったのは「あゝ、可哀そうに馬鹿なことをして。最悪の場合、銅メダルの剥奪じゃないか！」っていう同情だった。誰が見ても政治的なメッセージだ。IOCの委員もインタビューで迷うことなく即座に「明らかに政治的メッセージだ」と答えている。韓国が騒ぎ出して力で黙らしてしまつまでは。サッカーで勝つ瞬間、打ちのめされた日本に追い打ちをかけて叩きのめすかのように、日本と間で領土問題のある竹島のことを「我が領土」と書いたプラカードを掲げて走り回つたのだから普通の人にはどう見ても政治的行為にしか見えない。領土問題は存在しないって言ってるみたいだけど、争いはあるでしょう。日本も尖閣の問題では同じようなことを言ってるけど、争いがあるのは誰でも認識している。だから政治的とは思わないのが普通だ。これは悪意でも何でもなく、常識的に、自然にそう想えるし、想わない方がずれている。だからIOCの委員も疑いもなく、即答したのだ。だがきつと後悔しているだろうと思つた私が甘かつた。韓国の反応は、何の誇張もなく、驚天動地の出来事だった。「事実を述べただけだ」わたしは最初笑おうとした。たぶん冗談だと思つた。どう考えても本気で言ってるとは思えなかつた。開き直つた幼児の言い訳みたいだったからだ。事実を？ 何でフィールドで事実を言う必要があるの？ だが彼らは本氣だった。結構、著名な人もそう公言した。「ウソ？ 嘘でしょ？ 有り得ないよ！」恐ろしく多くの人の感じはそう。韓国だけ異なるのか？ そうかもしれないが、そうとも言切れない。現に竹島セレモを観て多くの韓国人は「よくやった」「何だが出るほどうれしかった」と言つた。ただ事実を述べただけで、なぜ涙が出るのか？ そこには想いがある。想いはメッセージだ。「事実を述べただけ」は絶対ウソだ。少なくとも「だけ」ではない。意味がある。感情がある。フィールドには競技以外の物を持ち込まないのがスポーツマン精神だと思う。ところが韓国では「何でもないことなのに日本が負けた僻みでいちゃもんをつけてきた」という感覚なのだ。全然違つ、断じて！ それどころか「陰湿ないちゃもんをつけ

る日本はスポーツ精神が欠けている」とまで言うのだ！　だつちがだよ。正直、眩暈がしそくなくらいの感覚の相違だ。韓国は反撃のために旭日旗を論議に混ぜ込んできたわ。だがもし戦犯旗というなら日章旗だと思う。だから日本では国旗や国歌に反対する意見が多々ある。本来なら韓国もそうあるべきなのだ。だが、日章旗は既に公認され、現に韓国でも競技場などで掲げられている。それをいままら否定できない。言っても勝ち目がない。だから旭日旗なのだ。動機が純粹ではない。要するに叩きのめしたいだけなのだ。それで『ああああみろ』と言つて溜飲を下げただけなのだ。」「し、領土問題などでも、未だに反省しない日本への当然の圧力だ」つてことになるんだろうから、たまたまフクガキ事件が冤罪であつてもそんなのは取るに足らないつて言うと思つ（最近、人の言いそうなことが分かるようになってきたやつた。けど、普通に平和な国の感覚で言えば名誉棄損であつて、それはそれで謝罪があるべきだ。絶対そう思つし、それが普通の考えだ。韓国内では、そういう意見がないのか？　批判が起らないのか？　善いも悪いも入り交じつた多様な意見がないのか？　疑問だわ。

相手が悪いことを謝罪しなければ、こつちも謝罪しなくてはよいというのは幼児の議論（でも世界各国では、意外にもそういう幼児的論がまかり通っている。韓中日に限らず！　まあ、向こうにすればわたしたちが言える立場じゃない、つてことになるんだろうけど）で、幼稚園でも「〇〇君だつてやつてるじゃないか」と言えば「〇〇君は〇〇君、あなたはあなたでしょ」と叱られる。まあ、どうでもいい、それよりか、さつきも書いたけど、それを読んだときのわたしの最初の感情は、「あゝ、わたしたち悪鬼なんだ。地球に巣食う邪悪生物なんだ」つてこと。

何にもしていないし（何にもしていないから罪悪なのかもしれないけど、そういう罪で逮捕できるの？）、何にも関与していないし、戦犯でもないのに。だつて戦犯は東京裁判で法的に片附いたはず。そう想つちやいけないの？　いや、いけないらしい。法的つてのは日本では珍重されるけど、世界ではさほどでもないらしい。協定や条約で決めても簡単に覆される。日韓で条約を結んだときも、個人の賠償請求はしない、個人への賠償を要らないなどという信じ難い約定を当時の韓国政府は結んだらしいけど、いまそれはいとも簡単に覆つて、賠償請求があり、日本は賠償もしないし、謝罪もしない卑劣な国ということになっている。確かに日本つて謝らない国、素直じゃない国だと思う、国は。間違いを認めない役所がまさに同じ体質だ。けど、欧州は皆そうじゃない（さつきも書いたか…）？　植民地に謝つた欧州の国は見たことがない。だからと言つてそれを日本が真似る必要もない（うん、さつきも書いた）。でも、韓国や中国の一般の人たちには謝つても、韓国の右翼や中国の政略的・戦略的な人たちに謝るのは怖い。それだけやすまされない気がするから…。次の手？　追い打ちつて言うの？　ありそうで怖い。失礼な言い分だと思つけど、本意だ。恐怖に嘘はない。理屈もない。

でもつて、たぶん日本にいる若い子たちは大概そんなことは何にも知らない。日本人は邪悪生物、民族丸ごと悪鬼つて漫画みたいんだけど、彼らは本気だから怖い。たぶん原因はこちにあるから余り言えないんだろうけど、何か怖い人たちに付き纏われているような感覚が、理屈抜きで迫つてくる。理屈では彼らの主張は理解できるけど、はつきり言つて怖い。結局、私たちつて平和ボケなんだと思つけど、誰がボケを止めるの？　どうやつて？　少なくとも歴史教育じゃムリなのは絶対。だつて勉強なんかする人は限られてるし、する人は試験に受かるためにしてるだけだもの。たぶんイミナイと思つて

ど、わかってないよね。もう日本の人は韓国の人みたいに深刻じゃないし、欧米と同じですっかり退廃している。一度崩れると戦争でもない限り戻らない。でも戦争なんてあつて欲しくない。だってこの世に崇高な正義の戦争なんてないから。一度もないし、たぶんこれから絶対ない。

結局古今東西全ての戦争は権力者と財閥（金持ち？）のためだけ。いつでも犠牲者はわたしたち庶民。太平洋戦争、大東亜戦争だってそうよ。遠い戦地で死んだ若者や空襲で死んだ人たちや広島・長崎に落とされた原爆で死んだ人たちは、神風特攻隊で若い命を散らした人たちも国を信じ、国や家族や同朋を護ろうとした。皆犠牲者よ。侵略された中韓が何と言おうともそうよ。国を信じて一度しかない人生を捧げた気持ちは純粹だった。そしていま、その子や孫や曾孫までも世界の悪鬼って呼ばれちゃっている。邪悪生物って言われちゃっている。何で？ 九族連座って、秦の始皇帝のお話で読んだことがあるけど、いまは現代ですけどって、わたしにしたらそんな感じよ。きつとそんなもんじゃないってことなんだろって、それがわたしの率直な感覚。無知のせいなの？ そうよね。

あゝ、でも、子や孫や曾孫に限らず、その当時の人たちだって、悪鬼と呼ばれてしまつのは余りに酷い。中国や韓国の人々が悲惨な辛い思いをしたのは分かるけど、日本の庶民だって悪巧みがあつてしたことじゃない。『きけわたつみのこえ』——第二次世界大戦末期に戦没した日本の学徒兵の遺書を集めた遺稿集を読んでこの青年たちを悪鬼だと思う人がいたらその人は絶対人間じゃない。悪鬼だ。邪悪生物だ。原爆の被害者たちの凄惨な事実を読んで涙しないなら、その人に生きる資格はない。これこそが永遠の真理だわ。もしそんなものがあるとしたならね。

たぶん「おまえらが起こしたことじゃないか」とか、「俺たちに比べたら大したことじゃない」って言われちゃうのかも shouldn't けれど、そういうもんなの？ そうかもしれないね。でも哀しいし、辛い。

あゝ、結局私も日本人なんだね。自己肯定の畏から逃れられない。いま文章を読み返すと日本の自己弁護みたいだ。それに日本の側の問題に関して何も書いてない。自分の心のショックを訴えることで精いっぱいだ。あゝ、嫌、まじ自己弁護だ。自分だけだ。超みつともない。ただ自己を肯定しているだけ。醜い。浅ましい。自己嫌悪、特に韓国の人のことを強く書いてやった。自分の経験のせいもあるけど、隣同士って反って憎み合いやすいの？ あゝ、わたしたちってそういう運命なのね。

誰を責めても虚しい気がする。『罪は権力者と金持ちにある』って言ったって、ただ彼らに力があつたから罪を犯せただけじゃん。庶民には力がないから結果的に国家レベルの犯罪のような大きな罪が犯せないってだけのことよ。彼らが金持ちや権力者になれば結局同じことをするんだわ。人間だから本質は大して変わんないと思うよ。人類が世界の悪鬼、地球に巣食う邪悪生物だよ。わたしはもう嫌になっちゃった、さよなら、パパ。 “

わが娘の思料に至らない箇所が多々あるのは父親である私にささ晰らかだ。御容赦を、という慣用句は言うまい。どつぞ御問責をと言おう。どのような人間もその限界の中でしか知り得ないし、考えられないし、想像できないし、感覚できない

し、実行できない。間違っただけでも、個人の二つの実感であることも事実だ。まさしく「事実を言ったまで」なのだろう。

私の娘は残念なことに自殺はしなかった。たまたま街にサッカーの試合があつて、フリーガンの暴動に巻き込まれ、集中治療室に入り、意識はあつたが、一週間生死をさまよつた末に19の命を喪つてしまった。



私はいまフリーガンと称する人間を無差別に探しては殺しています。娘が知ったらどう思うだろうかと自問するときもありますが、気にしてはいません。この世は空莫で、科学的な物象の世界であって、どのような意味に於いても絶対的なルールなどない。科学的事実です。物事を事実にして複雑系的に理解し、事案別に閱するべきなのでしようが、私はただの人間なので、復讐の怨念の力の前では屈します。だから何でしょうか。この烈しい憎悪、激憤、恨みを晴らすに生きるくらいなら、八つ裂きになって死にたい。こんなことを続けていれば、いずれ破滅するでしょうが、どうってことありません。